令和５年９月１日に思う

「私の考えにブレはありません。」引き続き１人でも多くの方々にマイナンバーカードを取得してもらうよう粛々と努力を続けます。

トラブルが相次いでいることは承知であり、来秋の健康保険証の廃止についても「再考の余地あり」と考えているものでありますが、それでもやがて到来するデジタル化時代の「一丁目一番地の役割がある」との思いが強いからです。

本村では、休日窓口や介護が必要な方への個別訪問の甲斐もあり 1,026 名の方が既に交付を受けており、村人口の 82.2%の方が保有されています。これは他町村と比べ先行していると思われ、村民皆さんのご理解のたまものと感じています。

それにしても世間ではトラブルが後を絶ちません。マイナ保険証に他人の情報が登録されている。公金受取口座で本人ではない口座情報が登録されている。マイナポイントが他人に付与された。等々のトラブルが発生しています。

ここは政府の丁寧な説明がいると思います。河野大臣は「期限ありきではなく、丁寧に点検する事を優先したい。」また岸田首相は「信頼回復にめどをつけ、秋から令和版デジタル行財政改革を始動する準備を進める。」と発言しています。いずれにせよ、デジタル社会は避けて通れません。不都合なところはできるだけ早く修正することとし、マイナンバーカードの全国的普及に向けて国民にはさらに詳しく丁寧に説明し、粘り強くそのメリットを説き、周知していくことが大切だと思います。

いろいろあったけど「やっぱり便利だね！」とみんなが言える日をめざして。